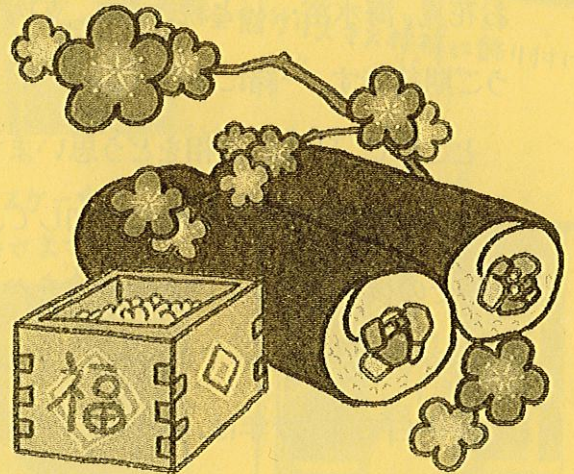


HSK こころから

74号

2021.2

鬼は外
おにはコロナ
福はぜん
冬の行事に
さびしき暮る



<https://www.seishin-sien.com/>

ホームページも見てね!



こちらの
QRコードからも
アクセスできます

昭和48年1月13日第3種郵便物承認

HSK通巻番号587号

発行 2021年2月10日 (毎月10日発行)

編集 住所: 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

団体名: 特定非営利活動法人 (NPO)

精神障害者を支援する会

TEL: (011) 736-1697

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 (HSK)

定価 50円 (会費に含む)

新年にあたって

支援する会理事長 三浦誠一

明けましておめでとうございます。昨年、雪祭りが終わったあたりからコロナ・コロナの1年でした。外出自粛で窮屈な毎日でした。会長(通称)も飲みにも行けず、うっとしい限りでした。その中でも、お花見も焼き肉の会もやりました。そして、最後にXマス会をやや盛大に行いました。楽しかったですね。

さて、今年はどうするか。今年も、コロナのくらしなので、外出自粛と3密(密閉、密集、密接)を避けるスタイルでいきましょう。これから、支援する会の行事は、豆まき、ひな祭り、お花見、海水浴……と続きます。支援する会では、行事の新しいスタイルを模索中です。請うご期待です。一緒に楽しみましょう。

ところで、日本の首相をどう思います。5人以上の会食の自粛を言ったその足で、8人の芸能人を招いての忘年会に参加して、世論に叩かれました。一応「ごめん」とは言いましたが、その後も数回5人以上の会食をハシゴしています。

選挙で勝ったら何でもできると思っているんでしょう。民主主義を全く理解していないことが明白です。今年、10月までに総選挙があります。こういう人達には、選挙で落選してもらうことが一番です。どうするのか、国民の7割~8割の人達が選挙に行くことでしょう。「選挙に行こう」が今年の合い言葉です。

2020年5月4日

コロナをぶっ飛ばせ！花見の会



新川通の桜が満開できれいでしたね

2020年7月23日

道生連本部班・支援する会合同焼き肉会



青空の下で食べる焼き肉は格別でした



支援する会クリスマス旬間

12月7日～12月16日

いつものようなクリスマス会を行うことが出来ませんでした。それでも、クリスマスらしいことはやろうと、利用者と職員全員に、いつもよりちよっと豪華なプレゼントを渡し、昼食に葬祭総合センター横市社長が届けて下さったクリスマスケーキを頂きました。プレゼント選びに目を輝かせている皆の表情がすがすがしく見えました。

「川柳・短歌大会」壁に全作品を展示!



理事長サンタも大活躍!



全館クリスマス模様には飾り付け!



全員にいつもよりちよっと豪華なクリスマスプレゼント



クリスマスケーキ
ごちそうさまでした!



ダリアの別 交遊センター
共同作業所・IAP

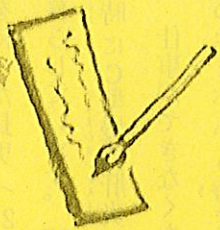


でも、コロナ禍で、いつもの行事も様変わり。
連帯と人間力で、コロナを吹き飛ばそう!

2020年12月25日 コロナ禍の「ご苦労さん会」

三密避けて、ダリア特製
ミックスフライ弁当に舌鼓!





受賞作品

2020年クリスマス旬間企画

コロナ禍で一句・一首



手を洗おう #WashHands

《理事長賞》

こわいののは コロナ病より 菅政治

工藤 英二

コロナ禍で クラスタリ、用所相続くも

皆で団結 今日も通所 内田 民江

《細川専務理事賞》

コロナ禍の マスク生活慣れ行くも

見えない出口 光を探す 池田 啓子

コロナ禍で マスクの下は ノーメイク

松浦 さやか

三密も だめだと言われ 人恋し

有賀 冴子

あちこちに 行けなくなった やつけない

有籾 和人

コロナ禍で どこにも行けない 年末だ

五十嵐 満

コロナ禍で いつまでするの マスクかな

池田 景子

コロナ禍で 行くに行けない 美容室

池田 道子

手洗いを きちんとしよう いつの日も

板橋 由美子

コロナ禍で 回せ経済 止めろ感染

伊藤 勇人

冬になり コロナに負けず 頑張るぞ

岩崎 修一

コロナかで はやめにだしつ マスクだよ

岩月 博志

コロナかで どこへもいけない きえてくれ

川島 義和

お歳暮 ウイルスまでも 倍返し

川村 昌克

コロナ禍で 作業に励む メンバーよ

菊地 伸一

クリスマス コロナは本当に おそろしや

岸山 周司

えらいひと コロナについて どうすんだ

串田 浩二

コロナには 手洗いマスク 欠かせない

小島 修二

《片山理事賞》

ヤンキーは コロナ前から クロマスク

小川 恵明

コロナ禍で 何が大事か 見えてくる

宮崎 砂和子

《松崎理事賞》

コロナ禍で マスクもういや はずせたら

春木 香寿美

とおくはなれた 友達に会いたし

福岡 信太郎

《沢野理事賞》

あきらめず 仲間とともに 最後まで

木崎 直生

世の中を 変える機会と思う コロナ禍よ

井上 大翔

気をつけて 感染するな コロナなり

斉藤 淳子

コロナに まけないからだ 来年も

斉藤 麻実

コロナ禍で 仕事は家で 袋詰め

櫻井 正人

コロナ禍で 負けないように がんばろう

柴田 江里子

コロナでは 換気をしよう 世の中で

嶋田 吉孝

手あらいで コロナに負けず がんばろう

白山 志津恵

うがいから コロナ感染 守りたい

互野 利弘

スピード感 国会答弁 スローリー

高坂 千秋

こまったな コロナにかどう みんなでネ

高瀬 洋子

GO・TOを 見切り発車で コロナ増す

武田 光輝

コロナ禍で 政策打てぬ 菅内閣

武田 恵

挑む冬 期待と不安の 新生活

玉木 真

行けません コロナのせいで 買い物に

近澤 広美

コロナ禍で ギョーザの玉将 行けないよ

内城 雅仁

クリスマス コロナやつつけ 楽しみたい

中澤 昭子

《吉田理事賞》

終わったら みんなでどこか 行きたいな

小西 やえ子

来年は コロナに負けない いい年に

田口 尚之

《田中理事賞》

風吹きて きらめき落ちる いちようの実

鈴木 博子

コロナにひるむ 心 いやさる

中村 晴美

思いやり ほっこり笑顔で コロナでも

石橋 妙美

《甲斐監事賞》

コロナ禍も 仲間と会える 幸せを

長井 順子

コロナ禍で 自助の押し付け 悲痛の声

公助届ける 運動止めぬ

コロナ禍に マスクをとりたいたい いっだろうか

春木 博英

ゴホンする ひやりとします コロナかな

林 妙子

誰が救う コロナの闇を ぶちこわせ

樋口 ひとみ

コロナには みんなを助けるな 手洗いを

古川 典恵

年の瀬や コロナなき世の 明日を読む

堀田 美千子

大試練 新型コロナに負けるな

三密を避け 奮闘の日々

心配だ 人にうつすと 新コロナ

松本 眞郎

コロナ禍で いつまでするの マスク生活

村上 久美子

コロナ禍よ 何人殺せば 気が済むか

山階 雅章

助け合い 皆で笑かせた フリージア

山田 琢也

あいたいよ 早くコロナが おさまって

吉岡 政信

見つからない なかなかヘルパー コロナかで

吉田 伸

コロナかで コロンで外に であいです

渡辺 哲也

3月に札幌地裁で判決

2013年から3年にわたって行われた生活扶助費の引き下げに対し2014年11月に全道15人が原告となつて裁判に立ち上がった「新・人間裁判」。6年目の2020年11月30日、ついに結審をむかえました。裁判所に原告の厳しい生活を訴え続けてきましたが、この日も『何としても勝ちたい』と、支援する会の宮崎砂和子さんが息子さんと二人暮らしの大変さを訴えました。

判決は2021年3月29日！最後まで奮闘しましょう。



宮崎砂和子さん

私は現在、「精神障害者を支援する会」で利用者さんにパソコンを教えるボランティアをしながら障害を持った長男（27歳）と暮らしています。27歳の時にC型慢性肝炎になり、仕事ができなくなり、何の生きがいも持てずに

いましたが、本音で語り合える仲間もでき、心が豊かになりました。長女は障害者施設を卒業し、現在働きながら一人暮らしをしています。長男は作業所に通所し、一カ月約5〜6万円の手当を得ています。昼食代や交通費スマホ代等で、手元には1万円しか残りません。若い子ですからほしい服もあると思うのですが、そんなゆとりはほとんどありません。思い切つて買え、今年冬は安心して過ご

どありません。

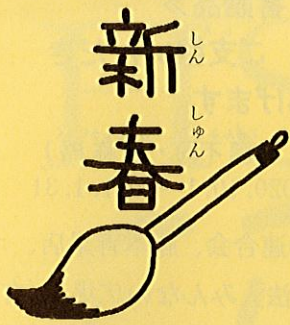
2013年8月から3年間でひと月1万1100円も保護費が減額されました。冬季加算も減らされ、灯油代に生活扶助費から約4万円も支出しました。コロナ禍による特別給付金が支給され本当に助かりました。施設に入所中の母にお土産をもつて面会に行くことが出来ました。久しぶりに自分の服と、長男の靴も買い変える事ができました。ズーと食べていかなかったお寿司もスーパーで買い、「たまにはおいしいものが食べたいなあ」の長男の言葉に少しだけ答えてやる事ができました。十年近く使つて不調だったストーブも思い切つて買え、今年冬は安心して過ご

せます。

私がボランテニアをしている「支援する会」の利用者の多くは、精神障害者との知的障害者の方ですが、その多くは障害年金と生活保護を受けています。グループホームに入所している人は、保護費が下がっても、決まった利用料を払い、昼食と休日は自分で食べなければなりません。通所している人たちは、昼250円、夜450円で支援する会の食事を食べていますが、朝食と休日の食事は、殆どの人は自分で作る事ができないため、おにぎりやパン1個で済ませています。それでも支援する会につながつている人は良い方で、他の作業所に通所している人は朝食抜きで

食べているとのことです。

お風呂に入る回数が減る事も匂いがしたり、靴が破れても買い替えられず、冬でも短靴の利用者さんでもあります。私は、息子のわずかな願いを満たしてあげたい、そんな思いで裁判に立ち上がりましたが、私とともに裁判に臨んだ障害者の皆さんの多大な激励もあつたからこそ、頑張つてくる事ができたと思つています。どうか裁判官の皆さん、生活保護法第1条に沿つた暮らしをするためにも、生活扶助費の引き下げをやめ、元に戻して頂きたいのです。そのことを心から願つて陳述をおわります。



書き初め大会

2021年の目標を
筆で書いてみよう!

1月7日～8日

全71作品! 完成

「歩く」「体力」「元気」「思いやり」「努力」「和」「前進」
「利他」「丈夫」「磨」「心得」「節約」「凧」「愛」「ダイエット」
「忍」「和氣到祥」「真」「身体」「体重減少」「結い」
「健康」「信心」「お正月」など。

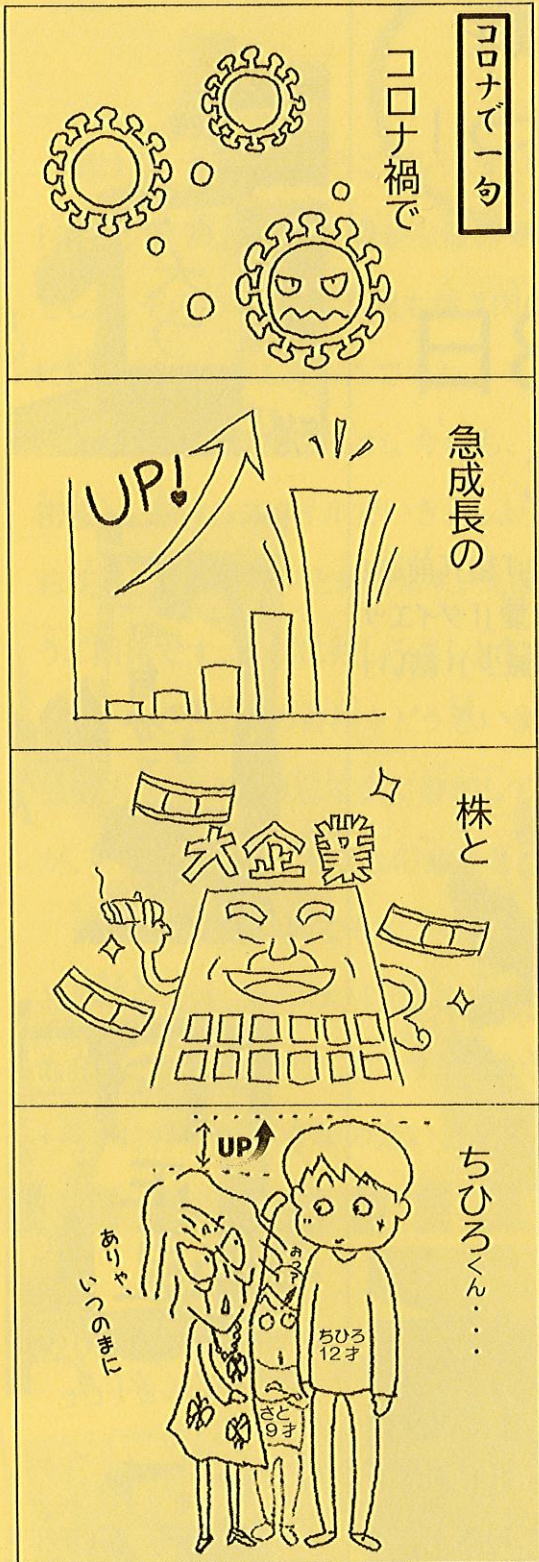


1月8日の書初めににて



4コマまんが

～ちひろとさと～



By はは

《寄付金・寄贈品》

当会の活動に対し、ご支援いただき
厚くお礼を申し上げます。

(順不同・敬称略)

2020. 10. 1～2021. 1. 31

北海道生活と健康を守る会連合会、藤本青果店、ニチドク事務機(株)、NPO 法人みんなの広場、(有)京屋電機・斉藤一博、日産プリンス北支店、北海道信用金庫、北20条葬祭総合センター、一般社団法人みらいかない、平田内科クリニック、NPO はるな会障害者サポート、(有)北日本宅建・斉藤彰英、溝上、工藤英二、内田民江、樋口ひとみ、小西やえ子、池田道子、村上久美子、櫻井正人、曾我清子、増田順蔵、片石松蔵、達崎竜一、中澤昭子、三浦スエ、池田博子、高坂瑞世、藤田和子、沼山恵美子、上原、伊藤朋也、山階雅章、山本、竹内あゆみ、長内、松崎、高谷、笹、松田あつ子、山田しげこ、田口尚之、川村昌克、山崎裕一、沼山恵美子、片山則之、小竹澄枝、伊藤勇人、小島智子、土沼司



～ご協力のお願～

『書き損じハガキ、ありませんか?』

いつも、ご協力頂きありがとうございます。支援する会では、書き損じハガキを、支援する会の財政活動に使わせて頂いております。引き続きご協力をお願い致します。

HSK ころから

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

発行 2021年 2月10日(毎月10日発行)

HSK通巻番号587号

《編集後記》

毎年恒例の新春書初め大会。ダリアの郷支援センターの食堂の壁一面の作を見ると、「いよいよ新しい年が始まったな!」と思います。今年の書初めテーマは「今年目標」。参加者は皆、自分を見つめ、自分がどうありたいか一生懸命に考えて作品に取り組みました。私は「志を継ぐ」と書きました。核兵器禁止条約発効のニュースを見て感じたことです。生まれてきて良かったと思える世の中にするために、私も仕事をしたり学んだり生活をしよう、そういう思いです。よい一年にしましょう!(藤原)